

しいの実

第14号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもち、たくましく生きる鈴西っ子」

■ 5年生稲刈り体験

5年生で5月8日に田植えを行ったところでしたが、苗がすくすくと育ち9月5日に稲刈りを行うことができました。子どもたちは農業法人クマダ（株）の渥美さんに、稲の刈り取り方を教えてもらった後、それぞれの場所に分かれて稲刈りを始めました。要領よくどんどん稲を刈っていく子もいれば、なかなか要領を掴むことができず苦戦する子もいましたが、どの子も張り切って稲を刈っていました。気づいたら、田んぼ一面の稲がすべて刈り取られていました。自然教室に続いて5年生の頼もしい姿を見ることができました。



片手で稲を握って、カマを素早く引きます。



どんどん刈り取っていきます。



コンバインへ



たくさん刈り取れてニッコリ😊

右側の子がなかなか稲が刈れず困っていると、左側の子が「すっ」と寄り添い、手助けをしてくれていました。手助けによって作業がスムーズになりました。

細かいやりとりですが、子どもたちが自然に助け合うことによって、学習意欲や効率が高まることに改めて気づかされるとともに、見ているこちらも心が温まる場面でした。

今後も、多くの学年でこのような場面が増えるようにしていきたいです。



きれいさっぱり刈り取ることができました。

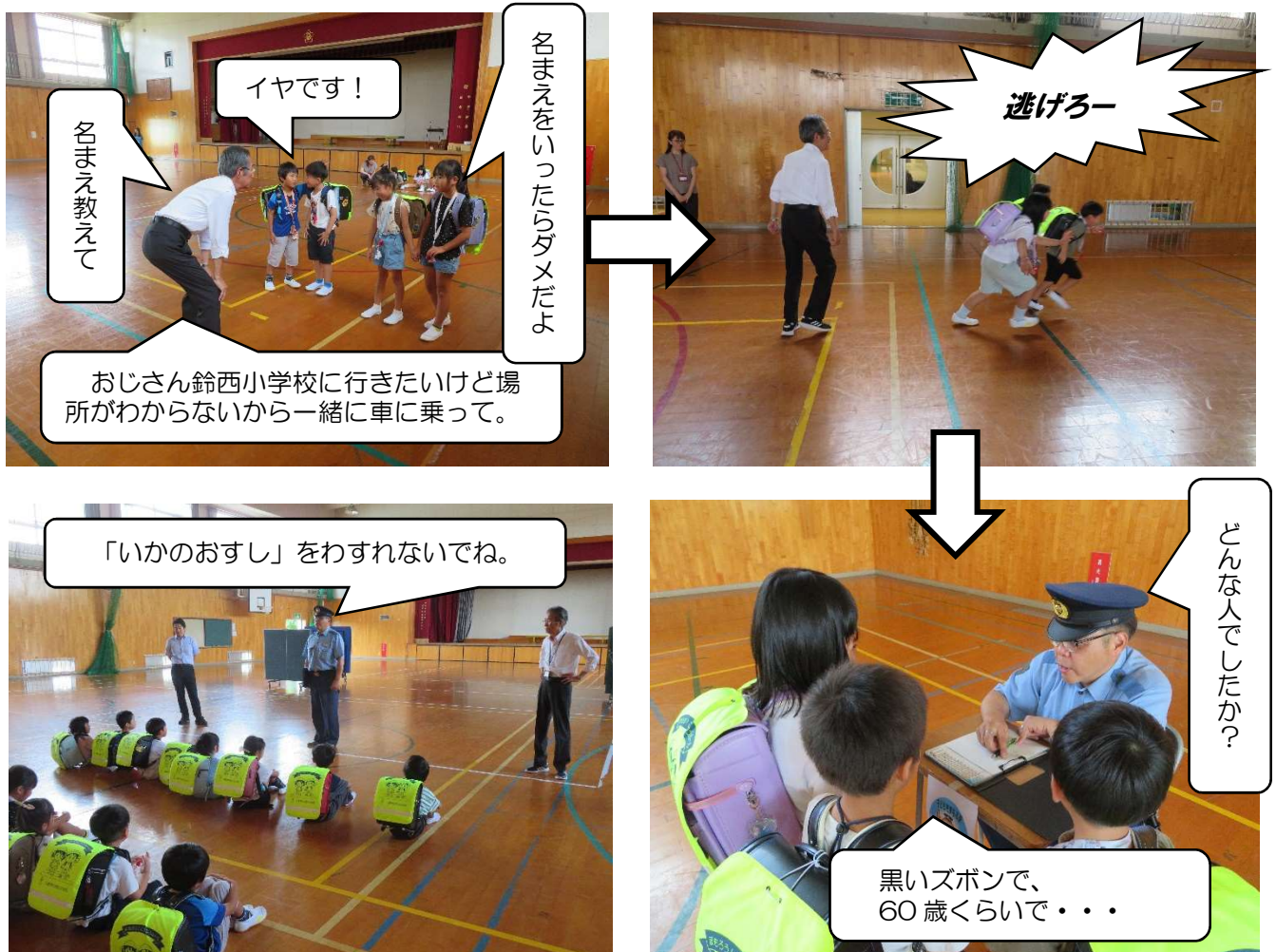
現在、コメが不足がちになっているニュースを見かけますが、このような時世の中でも子どもたちが貴重な体験をさせていただけるのは、渥美さんをはじめとした、農業法人クマダの皆さんのおかげです。ありがとうございます。体験的な学習を通して、いつも私たちが何気なく口にしているお米がどのようにして作られているのか、仕組みや苦労について理解を深められたのではないかと感じました。

この学習直後の学級会で、「クマダの皆さんへお礼をしたい。」という声が上がりました。お礼の形については、5年生全員で相談して決めていくそうです。

■ いのちを守る学習

＃１ １年生連れ去り防止訓練

9月5日(木)3限目に1年生で「連れ去り防止訓練」を行いました。今年度、鈴西小校区で不審者情報は聞いておりませんが、今後不審者事案が起こらない保証はありません。1年生の子どもたちが体験を通して、不審者に出会ってしまったときどのような行動をとればよいのか、鈴鹿警察や鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課の皆さんに教えていただきました。



教室でDVDを視聴した後、体育館に入り下校中に不審者に声を変えられた想定で訓練を行いました。不審者役の人に声をかけられても「イヤです。」とはっきりこたえたり、ランドセルを掴まれそうになった時に急いで逃げたり、知っている情報を伝えたりするなど、「いのちを守る」ための活動を真剣に行うことができていました。

最後に「**いかのおすし**（ついて**い**かない、車に**の**らない、**お**おごえをだす、**す**ぐにげる、おとなのひとに**し**らせる）」について、鈴鹿警察の方と確認して訓練を終えました。各御家庭でも「いかのおすし」について、復習していただけるとありがたいです。

＃２ 地震火災避難訓練

9月6日(金)に地震と地震発生に伴う火災が発生した想定で、避難訓練を行いました。今回は20分休みに行った関係で、緊急地震速報の警告音が鳴った瞬間それぞれの場所でどのように行動すればいいのか、自分で考える力が試される訓練となりました。

多くの子どもたちが、運動場の真ん中付近でしゃがむ、放送を聞いて急いで校庭に出るなど適切な行動を行うことができていました。

しかし、中にはゆっくり階段を下りる、ケガで足が不自由な仲間を助けずに逃げってしまうなど、状況に応じた行動ができていない様子も見られました。

今回の反省を踏まえ、災害時にいのちを守るため「自分で考える」力を、学校生活における様々な場面で鍛えていく必要性を考えさせられました。